

能登半島の豊かな自然環境

海浜地域を中心に国定公園に指定され、近年は世界農業遺産に指定されたことでも注目を集める能登半島。

そんな能登半島は、人々の暮らしと自然が関わり合って育まれた、里地里山、里海が広がり、様々な環境が重なり合う自然豊かな地域でもあります。

ここでは、そんな、能登半島の豊かな自然環境を代表する15の地域をご紹介します。

里山

- 1 珠洲の里地里山 ……水生昆虫と水鳥のオアシス
- 2 山田川と宮地の水田地帯 ……森の中のちいさな里
- 3 洲衛・市ノ坂の谷戸 ……豊富な湿地植物
- 4 志賀町沿岸のため池群 ……水生昆虫のふるさと
- 5 能登島・七尾湾南部のため池と水田地帯 ……湾に面する里地
- 6 神子原の水田地帯 ……能登を代表する広大な棚田

※番号は、地図に対応しています。

大きな河川の少ない能登半島では、あちらこちらにため池が作られています。小さな湿地と水田、そして森がとなり合う環境は水生昆虫や湿地の植物など、里山の生き物たちを育てています。

能登地域は令和6年の地震により被災し、現在は復興途上です。外浦の海岸や珠洲市の若山川などでは隆起が見られるなど、地震が自然環境や生態系に与える影響も注目されています。



1. 珠洲市のため池。珠洲市には水生昆虫や水草のみられるため池が点在している。2. 宮地地区。震災の影響を受けつつも、里山の管理が続けられている。5. 能登島。低い山々の間に谷戸が広がっている。6. 神子原地区。展望台からは森と水田、人里がとなりあう光景が見られる。

里海・海岸地域

- 7 鉢ヶ崎の砂浜と海岸林 ……クロマツ海岸林と広大な砂浜・草地
- 8 能登外浦海岸周辺地域 ……地震による隆起海岸と沿岸部の棚田
- 9 志ヶ浦・由比ヶ丘の草地と海岸林 ……広大なヨシ原と海岸林
- 10 上野沿岸の塩性湿地 ……希少な海浜植物の育つ湿地
- 11 甘田・柴垣海岸の砂浜 ……希少昆虫のみられる長大な砂浜

※番号は、地図に対応しています。



8. 木ノ浦。かつての海中中部は、固着生物や貝の殻などにより白く見え、隆起したことが分かる。10. 上野沿岸。潮の満ち引きの影響を受ける海岸にウミミドリなどの海浜植物がみられる。

里山と里海をつなぐ川と森

- 12 旧内浦町 ……久里川尻川流域と海岸湿地
- 13 町野川流域 ……能登で淡水魚の種類が最多
- 14 邑知湯と周辺の川と水路 ……生き物たちを支える広い水域
- 15 低山帯のブナ林 ……能登の山に点在する森

※番号は、地図に対応しています。

能登の山は最高でも637m(宝達山)で、主に植林地や雑木林から成っています。一方で、宝達山、宝立山、石動山などの山頂周辺にはブナの林がみられます。全国的に低標高のブナ林は珍しく、能登の特徴的な環境です。

また、町野川や九里川尻川などの比較的大きな川には、沖積平野が形成され、ドジョウやメダカなど里の生き物の生息地となっています。

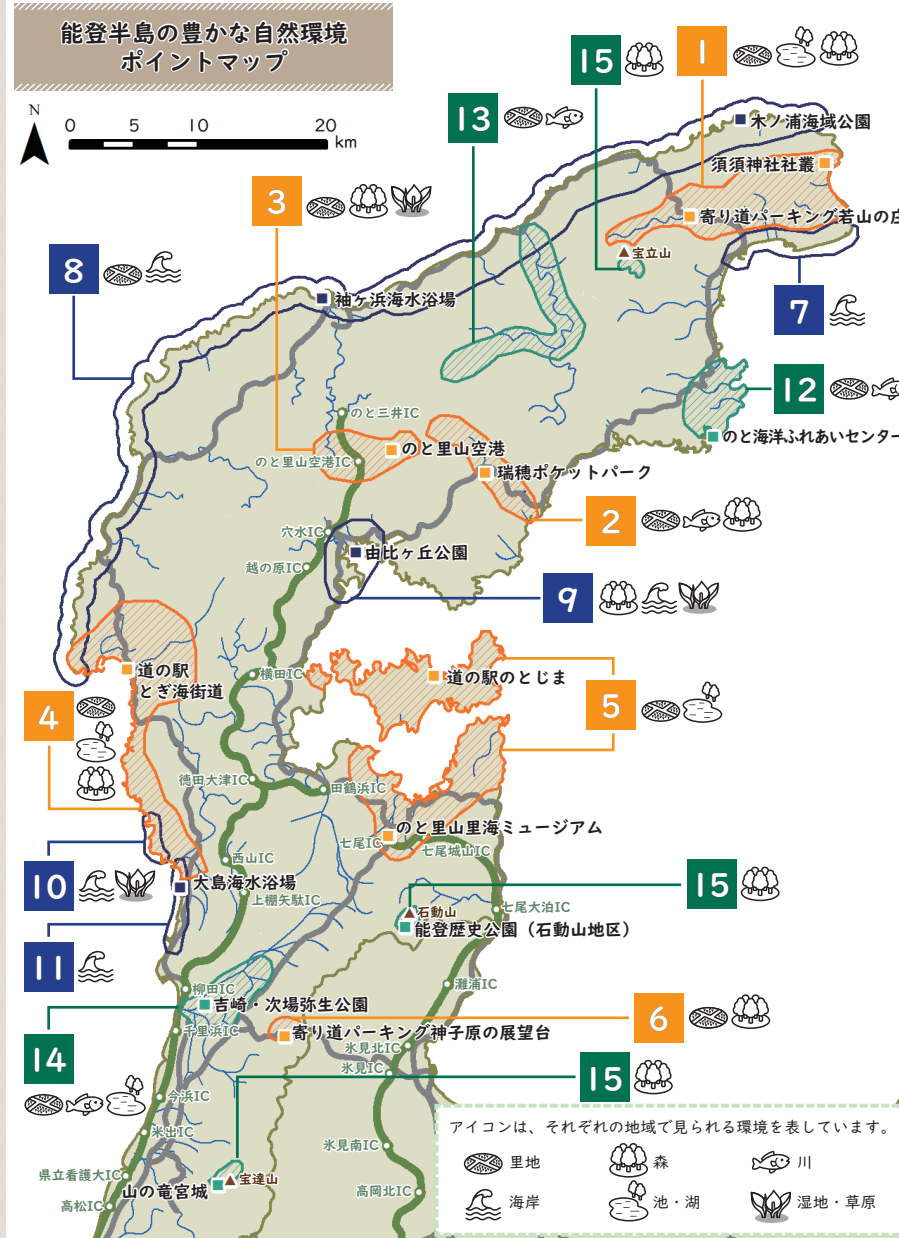


13. 町野川。水田や山地を縫うように流れ、多くの動植物のすみかとなっている。15. 宝達山。ブナ林内に里山と違った生き物がみられ、能登の環境の多様性が感じられる。

能登半島には、揚げ浜塩などが作られる里海が広がり、海浜植物、昆虫、海鳥など多くの生き物が育まれてきました。

海岸から少し内陸に入ると、起伏のある斜面には棚田が見られます。棚田は山肌や谷筋などの傾斜地に階段状に築かれた水田のことで、生物の多様性を保つ場でもあります。

さらに、令和6年の地震で隆起した外浦の海岸では、新たな陸地の生態系が生まれつつあり、学術的に注目されています。



アイコンは、それぞれの地域で見られる環境を表しています。

- 里地
- 森
- 川
- 海岸
- 池・湖
- 湿地・草原